

**肢体不自由特別支援学校に通う
重度重複障害のある児童への
iPadの活用**

東京都立北特別支援学校

東京都立北特別支援学校について

○主に肢体不自由教育……

小学部～高等部、在宅訪問、北療センター内訪問

○主に病弱教育……

病院訪問、こだま分教室

※本校の小学部高学年は、児童の課題に応じて4～6年合同の縦割りのグループで学習に取り組んでいる。

本児は自立活動を主とする教育課程である児童6人のグループに属している。

対象児の情報

- 小学部5年 男子
- てんかん性脳症
- エアウェイ、鼻腔留置チューブ、サチュレーションモニターを常備装着
- 聴覚優位
- 快：笑顔 不快：眉間にしわを寄せたり歯ぎしりで表現
- 好きな活動：シーツブランコ



困難の内容

- 学習の積み重ねが難しいこと
- 主体的な活動が見つげづらいこと
- 音に敏感で腕を引き込むこと

音に対する反応



対象児の事前の状況

たまたまiPadを体験した時、
主体的な活動に汗をかきながら
夢中に取り組む様子が見られた。

活動目的

iPadを操作する活動を通して

○主体的にもものごとに関わる力

○気持ちを伝える力 をつける

目的を達成するためには
何が必要か？

目的を達成するために必要なことは何か？

① やりたい気持ちを引き出す

② 左手の動きを引き出す

③ 注視する力を引き出す



④ 好きな活動として確立。

⇒ 環境整備パターン化する



⑤ 人と関わる力（伝える力）、自己決定する力（選択）

活動内容と対象児の変化

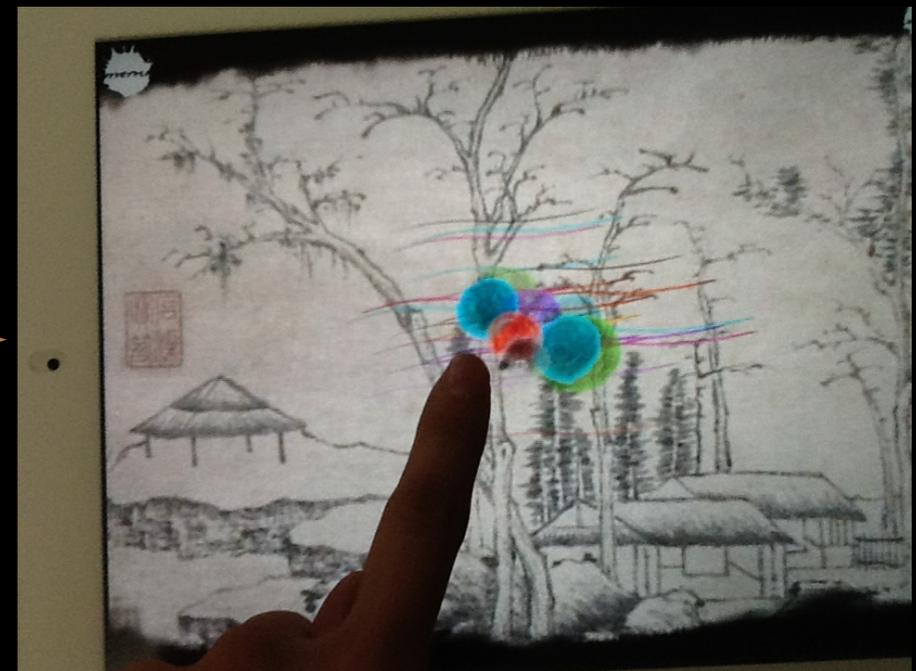
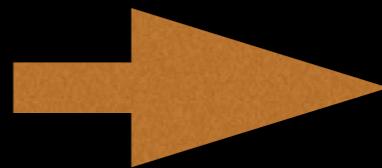
活動の具体内容

個別の時間 (9:30~9:50)

実施回数:1学期11回

2学期16回

アプリ:「Magic Zither」「Pocket Pond」



対象児の事後の変化

環境設定



対象児の変化(中間時)

○手の動き

- ・手を降ろしたまま操作できるようになった
- ・手の動きにパターンがあることが分かった
- ・アプリの違い



考察

- 活動に慣れたこと、見通しがもてるようになったこと、環境整備の確立によってもたらされた変化であると考えられる。

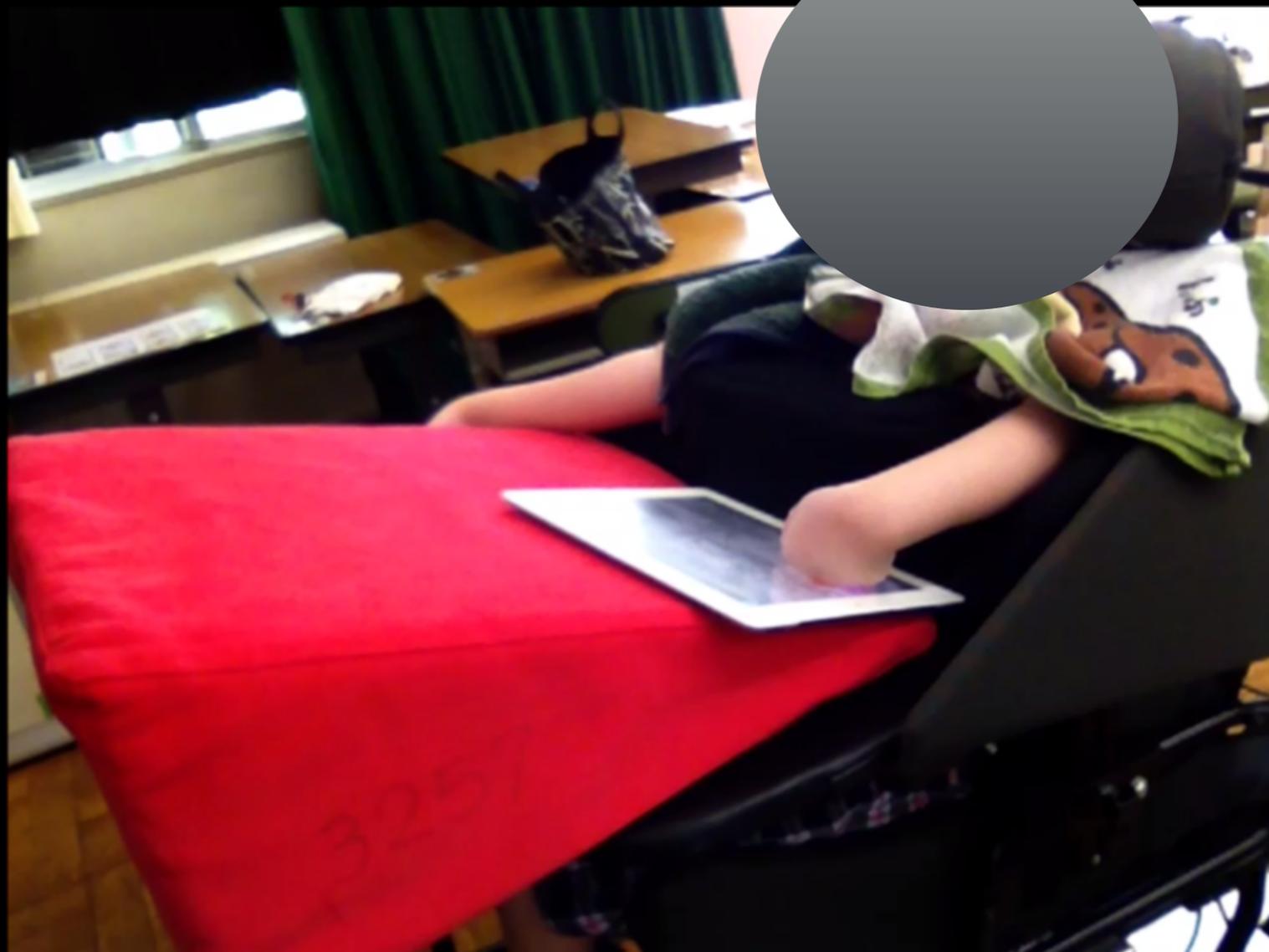
課題

- 感覚活用についての検証
- ちょっかいを出していく

- ・紙を置いてみたとき(音あり)



- 布を置いてみたとき(音なし)



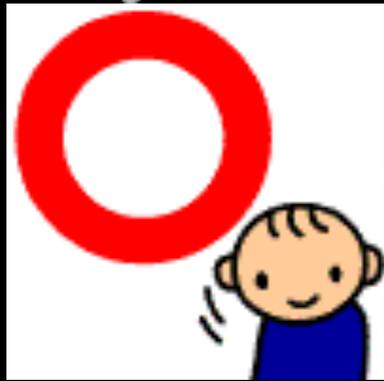
- ipadを抜いてみたら

ここまでの取り組みで分かったこと

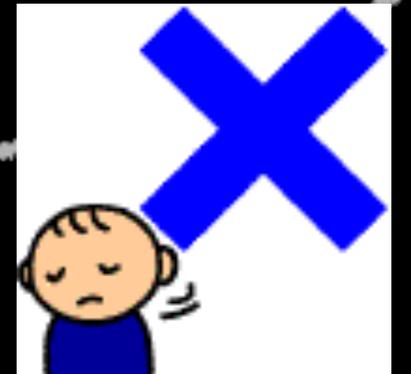
	音	感触	操作	表出
普段	○	○	○	○
紙	○	×	○	○
布	×	×	×	×
ipadなし	×	×	×	×

音でアプリを楽しんでいる

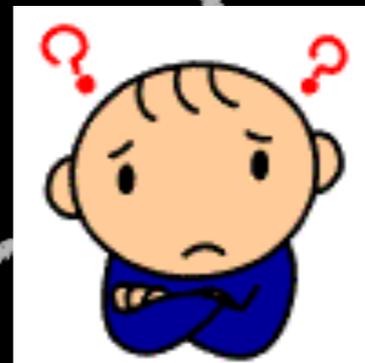
音の変化♪



画面の変化
感触



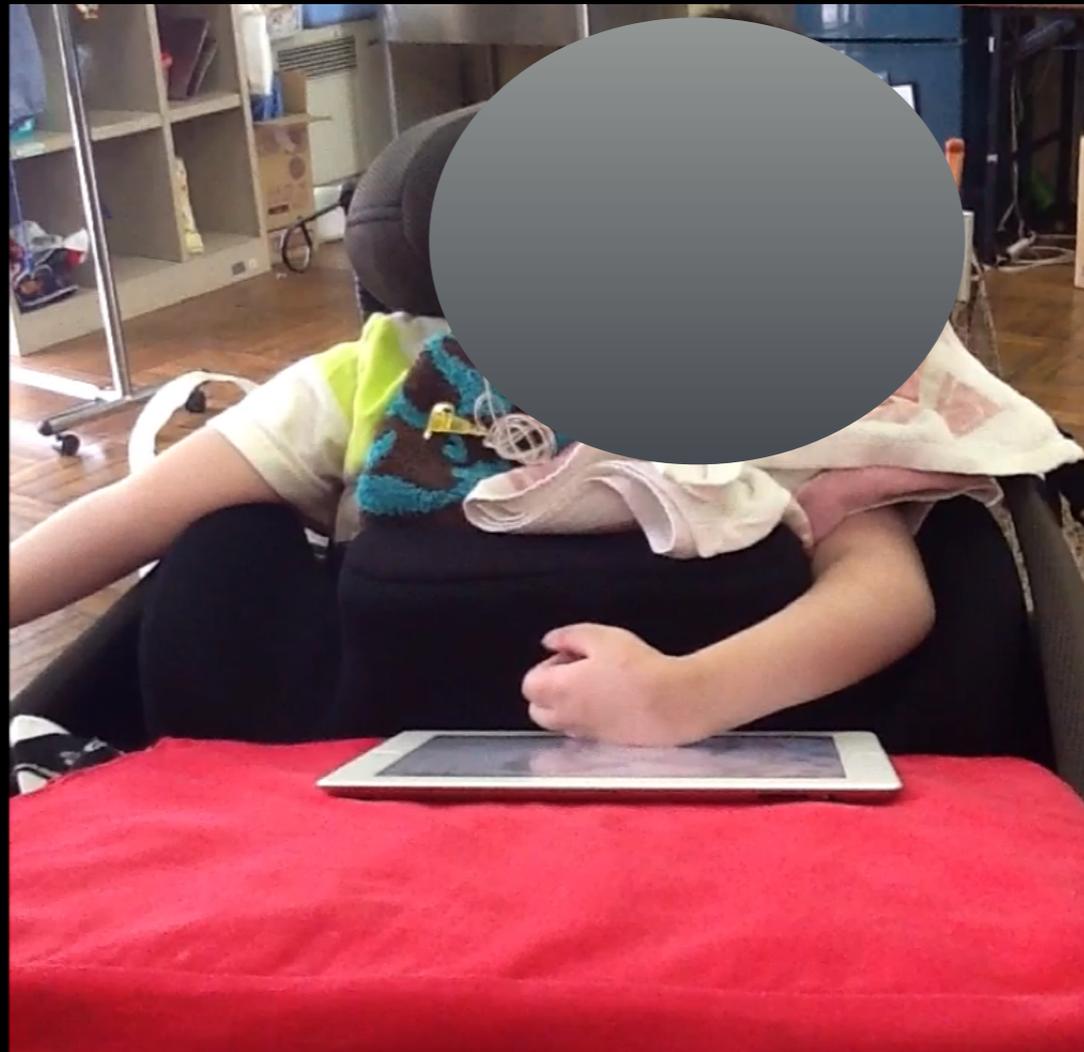
自分で出す音が？
他の人が出す音でも？



対象児の変化(中間時)

○表出①

- ・ 笑顔が出るまでの時間が短くなった
- ・ 「上手」の声かけで笑うようになった



考察

- 活動に慣れ、見通しがもてるようになったこととでの変化

課題

- アプリを何で楽しんでいるのか？
- 「上手」の言葉を理解しているのか？

- ・ 大人が操作しているのを聞かせると？
- ・ 大人が操作して画面だけを見せると？
- ・ 大人が近くにいない環境になったら？
- ・ 「上手」の声かけを色んなパターンでかけたら？

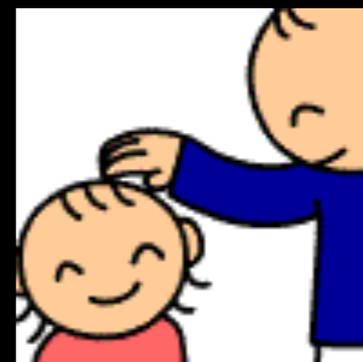
iPadの楽しみ方

自分で操作

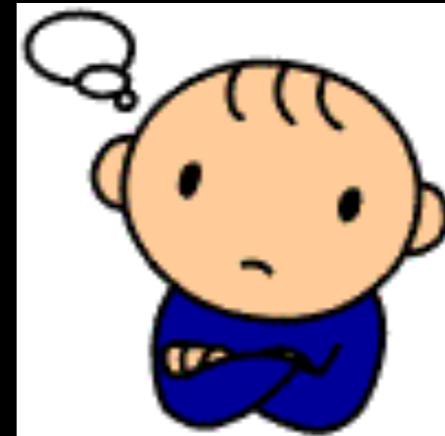


+

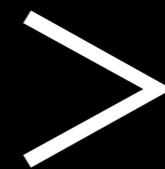
周りの反応



聴覚の活用

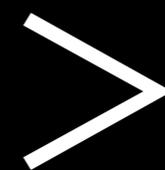


イントネーション



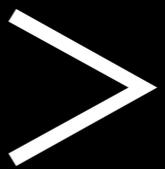
語彙

担任



他の教員

左



右

対象児の変化(中間時)

○表出②

- ・心拍の変化
- ・要求表現の変化
- ・家庭で

考察

活動に集中しているからこその変化だと考えられる。目新しい活動から好きな活動になりつつあるのではないか。

対象児の変化(中間時)

○注視

- ・大きな変化はみられなかった。

考察

- ・注視はしていなくても完全に見えていないわけではない

課題

- ・目標を注視ではなくものをとらえるところにおく
- ・教員と一緒にアプリをしたり、動画を見る時間を作ったり、大型テレビをつなげて光るアプリを試していくことで評価を行う。

- ・ 黒い仕切りと布、段ボールを使い、暗い環境を作ってみると？

- ・ 大画面と接続してみると？

注視の視点から

【報告者の気づきとエビデンス】

ものをとらえることができるようになったか？

○主観的な気づき

- ・ものをとらえることができつつあるかもしれない。

○エビデンス

- ・光に気づいて視線を動かすことが見られるようになってきた。

※教員の意識の変化からか

活動のまとめ

	聴覚	視覚	認知
ipadのアプリ	好みの音 ↓ 操作	—	聴覚の活用
別場面での活動	声の聞き分け 左右差	明暗 眼球の動き	活動の広がり

活動を振り返って

